

『秋のおとづれ』 寸評

- ・楽器の選択と音楽の内容がピッタリ
- ・アコギはきかせどころも多く充実した書法
- ・m.7-8のかけあいが光ってる もっとききたい
- ・アルトリコーダーへの指示も正しく、m.9からのハモリも的を得ている
- ・メロディカのさりげない合いの手もよい

完成度をさらに上げるために

- ・m.1アコギは{アルペジオでいいのでは（上向き矢印ではなく）
- ・アルペジオは和音を低音から高音へ向けてずらして弾く奏法
- ・m.1, 8のアコギ二分音符は3拍のばしでもいいかも
- ・m.10 b.1アルトリコーダーのハモリはD₇の構成音でラにしよう
- ・m.11アルトリコーダーのハモリもおなじくD₇の構成音で
- ・m.13-16メロディカがあそんでもったいない
m.7-8のような鮮烈なかけあいをなにかやらせよう
- ・m.16アコギの記譜 赤を参照して
- ・シンプルであつてもつねになにかしらの興味をひく
ききどころがあると、より満足のいく中身が達成される

m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

色々な作風、好ましいです。

持麿 勉